



JTUC

日本労働組合総連合会
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.415 2026.1.1

れんごう

YAMANASHI

安心社会へ 果敢にアクション! ~広げよう「理解・共感・参加」の輪~

「午年の力で地域を駆動——持続可能な成長を目指して」

新年あけましておめでとうございます。

このたび、連合山梨会長に就任いたしました杉原孝一でございます。旧年中は格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

新任の身として身の引き締まる思いであり、組合員とそのご家族の暮らしを守り、地域の持続的な発展に寄与するために全力を尽くす所存です。

近年、物価の上昇やエネルギー価格の高騰、国際情勢の変化などにより、私たちの暮らしを取り巻く環境は大きく変化しています。生活に対する不安や将来への懸念を抱く声は依然として少なくありません。今一度、私たち一人ひとりが現状を見つめ直し、働く者の立場から課題を共有し、次につなげていく姿勢が求められていると感じています。

春季生活闘争は、賃上げの動きが加速し、2年連続で5%近くの賃上げが実現したものの、生活が向上したと実感している人は少数にとどまり、個人消費は依然として低迷しています。2026春季生活闘争は、「人への投資」をより一層積極的に訴えていくとともに、『賃上げノルム』の確立をめざさなければなりません。また企業間格差、雇用形態間、男女間の賃金格差是正も進めていかなければなりません。山積する課題に正面から向き合い、解決の糸口を見い出しながら、連合山梨の運動を着実に前進させて行きます。

今年は午(うま)年です。

「馬」は古くから「力強さ」「前進」「挑戦」を象徴するとされています。力強く大地を駆け抜ける馬のように、困難な課題にもひるむことなく挑戦し、未来へ向かって着実に前進していく一年にしたいと考えております。

連合山梨は、すべての働く仲間の先頭に立ち、「労働組合は社会になくてはならないインフラ」であることを力強く発信しながら、誰もが安心して働き続けられる社会の実現に向けて運動を展開してまいります。

本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



連合山梨会長

杉原孝一

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189

URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail: info@yamanashi.jtuc-rengo.jp

発行人 宮下 竜三



RENGO_YAMAGUCHI



Facebook



Homepage

2026年度 連合山梨 執行機関組織構成図

会 長 杉原 孝一

会長代行 松長 浩子

副 会 長 白倉 和也 三輪 茂樹 原 和之 櫻井 澄人
廣瀬 晴之 木下 昭英 大石 正哉

会 計 水上 雄一郎

監 査 三谷 侑馬
赤坂 譲

事務局長 宮下 竜三

副事務 小川 直人 白倉 範人
局 長 船渡 義昭 日野原 和貴執行 津嶋 健司 小林 正博 植松 久雄 保坂 正也 来城 修 赤池 潤哉
委員 向井 仁志 相澤 智 田草川 厚彦 堀内 直英 山下 智也 野中 広俊
前田 宝 長谷部 恵二 藤田 益孝 濱田 さつき 小尾ゆう子

事務局員 深野 和代

オルガナイザー 高井 利樹

労働相談担当 白倉 範人

部 門	委員会・センター・連絡会の構成
組 織 対 策	組織対策委員会 …… ◎原 和之 ○廣瀬 晴之 ◇船渡 義昭 ◆深野 和代 津嶋 健司 保坂 正也 向井 仁志 野中 広俊 青年委員会 …… ◎諏訪 祐一 ○尾高 孝文 ◇小澤 脩人 岡見 容嗣 杉本 涼 名取 篤輝 原 翼 鎌田 大輔 土屋 拓巳 山下 康平 杉田 玲弥 ◆船渡 義昭
組 織 拡 大	組織拡大委員会 …… ◎三輪 茂樹 ○松長 浩子 ◇白倉 範人 小林 正博 保坂 正也 来城 修 向井 仁志 相澤 智 田草川 厚彦 フェアワーク 前田 宝 長谷部 恵二 藤田 益隆 高井 利樹 推進センター …… ◎三輪 茂樹 ◇白倉 範人 ◆高井 利樹 宮下 竜三
政 策 制 度	政策制度委員会 …… ◎木下 昭英 ○白倉 和也 ◇小川 直人 ◆日野原 和貴 小林 正博 赤池 潤哉 堀内 直英 山下 智也 前田 宝 長谷部 恵二 藤田 益孝 濱田 さつき 深野 和代
中 小 対 策	中小対策委員会 …… ◎大石 正哉 ◇白倉 範人 小林 正博 植松 久雄 保坂 正也 相澤 智 田草川 厚彦 堀内 直英 高井 利樹
ジェンダー 平 等	ジェンダー平等 …… ◎櫻井 澄人 ◇小川 直人 ◆深野 和代 推進委員会 津嶋 健司 植松 久雄 来城 修 赤池 潤哉 山下 智也 野中 広俊 濱田 さつき 女性委員会 …… ◎濱田 さつき ○小尾 ゆう子 ◇向井 由香里 日向 美生子 五味 浩美 関口 香奈子 小池 衣里子 武川 奈津子 土橋 和奈 常葉 亜希 ◆深野 和代 ◆小川 直人
政 治 セ ン タ ー	政治センター …… ◎松長 浩子 ○白倉 和也 ◇船渡 義昭 三輪 茂樹 原 和之 櫻井 澄人 廣瀬 晴之 木下 昭英 大石 正哉 宮下 竜三
連 帯 ・ 平 和	(委員会なし) ◇深野 和代
総 務 財 政	総務財政委員会 …… ◎松長 浩子 ◇宮下 竜三 白倉 和也 三輪 茂樹 原 和之 櫻井 澄人 廣瀬 晴之 木下 昭英 大石 正哉 編集委員会(HP) …… ◎日野原 和貴 ◇白倉 範人 津嶋 健司 小林 正博 高井 利樹 ふれあい基金 …… ◎白倉 和也 ◇宮下 竜三 原 和之 櫻井 澄人 廣瀬 晴之 木下 昭英 運営委員
地 域 協 議 会	中部地協 …… ◎桐原 智 ◇長谷部 恵二 東部地協 …… ◎後藤 真秀 ◇前田 宝 西部地協 …… ◎米山 祐貴 ◇藤田 益孝 専従役員と3地協との連絡会議を設置
産 業 別 連 絡 会	官 公 部 門 …… ◇日野原 和貴 自治労 日教組 全水道 国公総連 政労連 森林労連 金 属 部 門 …… ◇船渡 義昭 電機連合 JAM 自動車総連 基幹労連 交 通 ・ 運 輸 部 門 …… ◇小川 直人 JP労組 運輸労連 JR総連 私鉄総連 JR連合 全自交
ボランティアST	(委員会なし) ◇宮下 竜三 登録者：51名
退 職 連 合	退職連合 …… ◎遠藤 長男 ○小俣 幸江 ○小林 文徳 ○田辺 建男 ○浅沼 恵美子 ○坂本 義清 ○上野 一博 ○石原 茂雄 ○渡邊 忠男 ◇中澤 千尋 □岡田 恭子 河西 正文 沓川 茂 水石 晴彦 樋口 裕子 加々美 実 清水 清敏 早川 員男 窪田 澄雄 橋本 富士雄 大木 勝藏 中込 寿之 清水 澄男 □坂野 修一 □味藤 哲雄 ◆船渡 義昭

※記号 ◎＝委員会・部会委員長、フェアワーク推進センターはセンター長

○＝委員会副委員長、フェアワーク推進センターは副センター長 ◇＝事務局主幹 ◆＝事務局副主幹 □＝会計・会計監査

12
12
FRI

女性委員会 第36回定期総会を開催



12月12日(金)、連合山梨女性委員会は第36回定期総会を開催し、2025年度活動報告、2026年度活動方針、新年度役員体制を承認されました。日本のジェンダーギャップ指数は148カ国中118位と低迷し、依然として低い状況にあります。こうした現状を踏まえ、「連合山梨ジェンダー平等推進計画」はフェーズ

2へ移行し、2030年までに女性組合員比率に応じた執行・決議機関への参画や、執行機関女性参画率50%の実現を目標に取り組みを進めています。多様な視点を取り入れ、一人ひとりが自分らしく働ける環境づくりは、持続可能な社会の基盤となります。女性委員会は今後ともつながりを大切にし、エンパワメントと課題共有を通じて、ジェンダー平等社会の実現をめざしてまいります。

女性委員会 委員長 濱田 さつき

2026年度役員 (敬称略)		
役職	氏名	産別名
委員長	濱田さつき	日教組
副委員長	小尾ゆう子	J A M
事務局長	向井由香里	自治労
幹事	日向美生子	電機連合
	五味 浩美	UAゼンセン
	関口香奈子	J P 労組
	小池衣里子	電力総連
	武川奈津子	情報労連
	土橋 和奈	運輸労連
	常葉 亜希	運輸労連

退任役員 (敬称略)		
役職	氏名	産別名
副委員長	牧野 恵美	電機連合
事務局長	青柳智恵子	自治労
幹事	雨宮まり子	情報労連



山梨退職連合

12
3
WED

第33回定期総会を開催



山梨退職連合は、12月3日(水)リッチダイヤモンド総合市民会館において、第33回定期総会を開催しました。

冒頭のあいさつで遠藤会長は、組織の活性化と会員相互の交流が進んでいることに敬意を示すとともに、現職と退職者が一体となり、退職後もつながりが切れない組織づくりの重要性を強調しました。また国政情勢に触れ、高市内閣の発足に期待を示す一方、物価高や円安、外交・防衛などの課題を指摘。医療や介護をはじめとする社会保障制度の充実を訴え、構成組織や連合山梨に結集する多くの仲間と連携し、政策提言や政治運動に積極的に取り組む決意を述べました。続いて、ご来賓として宇田川日本退職連合事務局長、宮下連合山梨事務局長をはじめ、7名の方よりご挨拶をいただきました。

議事では、2025年度の活動経過報告および決算報告の後、組織拡大の取り組みと政策・制度の取り組みの前進を目指した2026年度の運動方針や予算、役員体制について提案され、満場一致で承認されました。

山梨退職連合は今後も、退職者の立場から地域社会と政治に声を届ける活動に取り組んでいきます。

副事務局長 船渡 義昭

当選御礼

皆様のご支援に感謝申し上げます

【富士川町長選挙】

2025年12月21日(日)投開票
(投票率 57.42%)

望月 利樹氏 4,530票 当選
斉藤 欽也氏 2,105票



もち づき とし き
望月 利樹氏

関係団体より新年のごあいさつ

謹んで新春のお祝詞を
申し上げます

旧年中は格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございました。
本年も倍旧のご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。

令和8年 元旦

中央労働金庫

常務理事 窪田 清
職員一同



中央ろうきん

謹賀新年

昨年は格別のお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。
本年もご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

令和8年 元旦

こくみん共済 coop 〈全労済〉山梨推進本部

本部長 萩原 雄二
事務局長 布能 真一
他 職員一同



公式キャラクター ヒットくん

連合山梨 ふれあい基金 給付・寄贈先一覧

2025年度の「給付金」は下記の通りです。

2024年9月1日～2025年8月31日

給付金		給付金		2025年度 給付金
死亡給付金 15名 (10,000/人)	150,000	障害1級 1名・2級 0名 (10,000/各級)	10,000	300,000
見舞給付金 28名 (5,000/人)	140,000	障害3級 0名 (5,000/級)	0	

連合山梨は「ふれあい基金」から、毎年社会福祉施設等に寄贈しています。第23回執行委員会で確認された2026年度寄贈先は下記の通りです。引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

寄贈先	NHK 歳末助け合い (海外)	福祉作業所つくしの家	富士桜作業所
	NHK 歳末助け合い (国内)	あさひ福祉作業所	社会福祉法人不二の里森福祉会
	山梨県ともしび基金	社会福祉法人ぶどうの里	東部授産園みとおし
	山梨県肢体不自由児協会 (愛のタオル)	芽生	社会福祉法人アドバンス
	福祉作業所たんぽぽの家	ひかりの家学園	NPO法人自立支援FIT
	ゆうき工房	社会福祉法人ありんこ	コスモ・アンシアnobi-nobi

第97回メーデー・ポスター図案 募集

締切り 2026年1月21日(水) 必着

応募方法

入選 最優秀作品 1点 (10万円)
優秀作品 2点 (各3万円)

最優秀賞は第97回メーデーポスター図案に使用

注意事項：

- 応募作品は返却せず、作品の著作権や使用权など一切の権利は第97回メーデー中央実行委員会に帰属する。
- 応募者は著作者人格権を行使しないものとする。
- ポスター・リーフレットの作成にあたり、オリジナルを編集する可能性がある。
- 第三者から応募作品に関する権利侵害や損害賠償などの主張がなされた場合、応募者は自信の責任で解決をはかるものとし、第97回メーデー中央実行委員会および連合は一切の責任を負わない。
- 応募者の個人情報は第97回メーデー・ポスター図案公募以外の目的に使用しない。
- 最優秀作品・優秀作品について、応募者の氏名(対象区分含む)、所属労働組合名、構成組織名または地方連合会名を公表する。

1. 図案イメージ：

第97回メーデーポスターとして、メーデーの基本方針をイメージできるもの。

- 労働者の地位や労働条件の向上、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求に貢献する。
- 働く仲間の結集するメーデーの持つ発信力を活かし、「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の継承・深化に向け、社会的うねりを呼び起こす運動を展開する。
- 積極的に家族の参加を呼びかけるとともに、労働者福祉事業団体やNGO・NPOをはじめとする諸団体との連携を強化し、社会全体ですべての人が支え合い共生できる仕組みを構築する重要な契機とする。
- 被災地の復旧・復興支援への継続・強化など、「誰一人取り残されることのない」社会の実現に向け、SDGs(持続可能な開発目標)の達成をめざす。

2. 対象：

組合員、家族、OB、OG、退職者

3. 応募要領：

- 手書き、電子データは問わない。(応募は、1人1点に限る。)
- 手書きの場合、用紙は「B4サイズ・タテ」画用紙またはケント紙とする。
- 応募者のオリジナルかつ未発表のもの。(商標権や著作権など知的財産権その他権利を侵害しないものに限り)
- 生成AIによって作成した作品は対象外とする。
- 記載事項として、以下を明記すること。
(用紙の場合は裏側に記載する。電子データの場合は電子メール本文に添付する。)
◎氏名、◎自宅住所・電話番号またはメールアドレス、◎所属の労働組合名・電話番号、◎構成組織名または地方連合会名、◎対象区分(連合組合員、家族、OB・OG、退職者)
- 送付方法は、郵便・宅配便または電子メールで以下へ送付する。

4. 宛先：

第97回メーデー中央実行委員会
(郵便・宅配便またはメール)



▲ホームページはこちら

第97回メーデー中央実行委員会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合 運動推進局 第97回メーデー中央実行委員会
TEL 03-5295-0538 E-Mail jtuc-undou-suishin@sv.rengo-net.or.jp